

経営側抵抗 遠い1000円

最低賃金 上昇ペース加速せず

2019年度の最低賃金の目安の引き上げ率は、過去3年と同水準の約3%で決着した。安倍政権は骨太の方針で「より早期」に全国加重平均1千円を達成するとし、地域間格差への「配慮」も打ち出したが、いずれもかけ声倒れに終わった。

▼3面参照

「決着は日付を越えるだろう」。30日夜、目安を議論する小委員会の藤村博之委員長(法政大学大学院教授)は休憩で会場を出た際、そう報道陣にこぼした。実際、決着したのは翌31日午前5時近く。審議時間は14時間40分に及んだ。

最大の論点は、目安額の引き上げ率が過去3年の約3%を上回るかどうかだった。4年前から年3%程度の引き上げを掲げる政権は今年6月、骨太の方針に「全国加重平均1千円」の

達成を「より早期に」と明記し、一段の引き上げへの意欲をにじませた。

だが、ふたをあけてみれば、目安額の上昇幅は全国加重平均で27円。引き上げ率は3.09%と、加速しなかった。これだと平均1千円の達成時期はこれまでの

最低賃金、目安通りに上がると…
単位は円。金額は現在の最低賃金に引き上げ目安額をそのまま加算した場合

861 北海道	788 岩手	824 宮城	798 福島	853 栃木	849 茨城	923 千葉
788 青森	788 秋田	789 山形	835 群馬	926 埼玉	837 山梨	1013 東京
829 新潟	832 石川	848 富山	964 大阪	851 岐阜	1011 神奈川	885 静岡
829 福井	832 滋賀	848 長野	964 大阪	851 岐阜	1011 神奈川	885 静岡
828 山口	790 島根	788 鳥取	909 京都	866 滋賀	848 長野	837 奈良
788 長崎	788 佐賀	840 福岡	871 広島	833 岡山	898 兵庫	837 奈良
788 熊本	788 大分	790 愛媛	818 香川	837 奈良	829 和歌山	873 三重
788 沖縄	787 鹿児島	788 宮崎	788 高知	792 徳島	829 和歌山	873 三重

増額助かるけど、増税も 川はさみ126円差

23年度と変わらない。前年並みになったのは、人件費の増加を懸念する経営側の強い抵抗のためだ。中小企業が加盟する日本商工会議所は5月末、「雇用や事業の存続自体をも危うくする」として、大幅な引き上げに反対する緊急要望を出して牽制した。

安倍晋三首相も参院選投票日の21日、報道番組で「無理やり最低賃金を上げていくことで失業率が増えることにもなる」と語り、大幅な引き上げに慎重な姿勢を示した。

骨太の方針で掲げた地域格差の是正もできないどころか、格差は拡大した。

小委員会で労働側は、最低賃金が800円以下の都道府県をなくすよう求めたが、退けられた。19年度の全国平均の901円で1日8時間、週40時間働いても年収は200万円以下と、「ワーキングプア」に入

る。最低賃金が901円を下回る見通しなのは、実に40道県にのぼる。

日本の最低賃金は、労使交渉によって決めるという性格が強く、社会保障やマクロ経済政策と関連づけ、専門家を交えながらデータに基づいて議論する仕組みがほとんどない。今年の審議も、そうした決定方法の限界を浮き彫りにした。

(滝沢卓、編集委員・沢路毅彦)

最低賃金が全国で2番目に低い高知県は、目安通りになら762円から788円に引き上げられる。「1千円でも2千円でも手取りが増えるなら助かりますよ」。高知市の女性(62)は語った。

女性はパートで小売業の配送に携わるが、足りず、掛け持ちで別のアルバイトをこなす。時給は790円。3月までは770円だったといい、「最低賃金に追い抜かれますよ」と会社に訴えたこともあった。

夫(70)が08年のリーマン・ショックのおおりで再就職に失敗。生活のためにした借り入れや、子供を大学に通わせるための教育ロー

ンの返済が今も続く。服は妹からもらったお古を着て、スーパーでは賞味期限が切れる直前の割安な食品を選ぶ。

10月には消費税率が上がると、最低賃金の上昇が少し実入り増につながっても「全く追いつきません」。秋には東京や神奈川の最低賃金が1010円台になると聞くと、「高知は貧乏県だから格差は仕方ないのかな」。

一方、中小企業の経営者にとっては最低賃金の上昇が重荷になる。静岡県熱海市の北部で温泉旅館を営む

男性(70)は「2〜3年前は人件費をコントロールできていた実感があったが、最近では増える一方だ」と嘆く。最低賃金の引き上げ率が4年連続で約3%になり、やりきれない思いだ。

熱海市北部は川を挟んで、湯河原温泉で有名な神奈川県湯河原町と接する。この旅館は、パート従業員は主に湯河原町から来てもらっており、人手を集めるには神奈川の水準の賃金を提示せざるを得ない。目安通りに引き上げられれば、19年度の最低賃金は静岡が

885円で、神奈川は1011円。男性は「神奈川の人に静岡の最低賃金をうんぬんしても来てくれるわけ

がない」。川向ごうの水準に引きずられ、126円高い時給を支払わざるを得ないとあきらめ顔だ。(榊原謙)

福岡以外は700円台 九州・沖縄

2019年度の最低賃金の引き上げ額の目安が決まった。今後は都道府県ごとに置かれる審議会が実際の改定額を議論する。

九州・沖縄地方の目安は、四つのランクのうち福岡がC、その他の県がDで、いずれも26円。目安通りに引き上げられた場合、福岡は840円となるが、鹿児島は787円、その他は788円で、700円台にとどまる。都市と地方の賃金格差の是正が課題となっているが、目安通りに引き上げても、福岡と他県との地域間格差は縮まらない。地方は都市より賃金水準が見劣りすることで人材

流出の懸念もある。

18年度は、福岡が目安通りの25円引き上げだったのに対し、鹿児島を除く6県は目安に2円上乗せして25円、鹿児島は1円上乗せして24円引き上げた。結果として鹿児島は全国最下位になった。審議会に労働側委員を出す連合鹿児島幹部は「全国最低からの脱却は意識するが、脱却できても近隣県と横並びでいいというわけではない」と話す。

(北川慧一)